

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

福島県 白河市

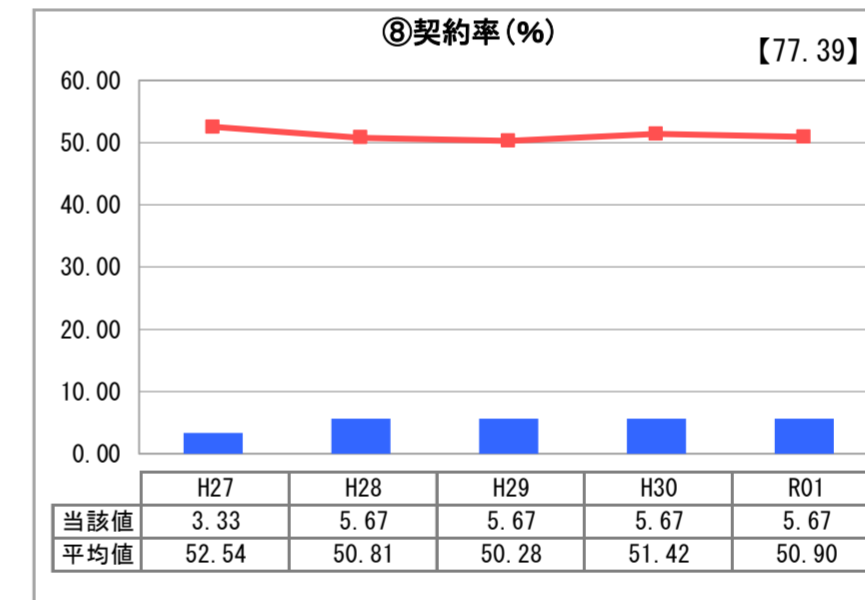
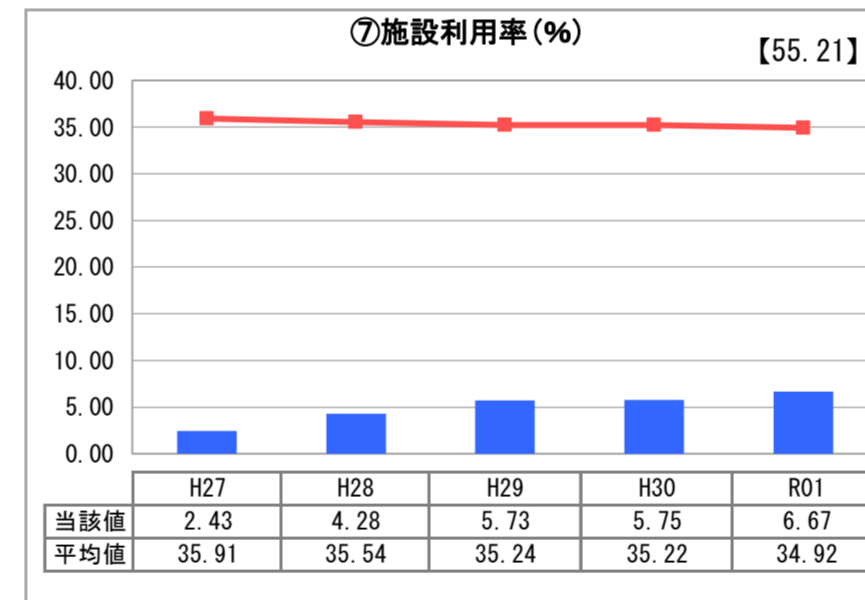
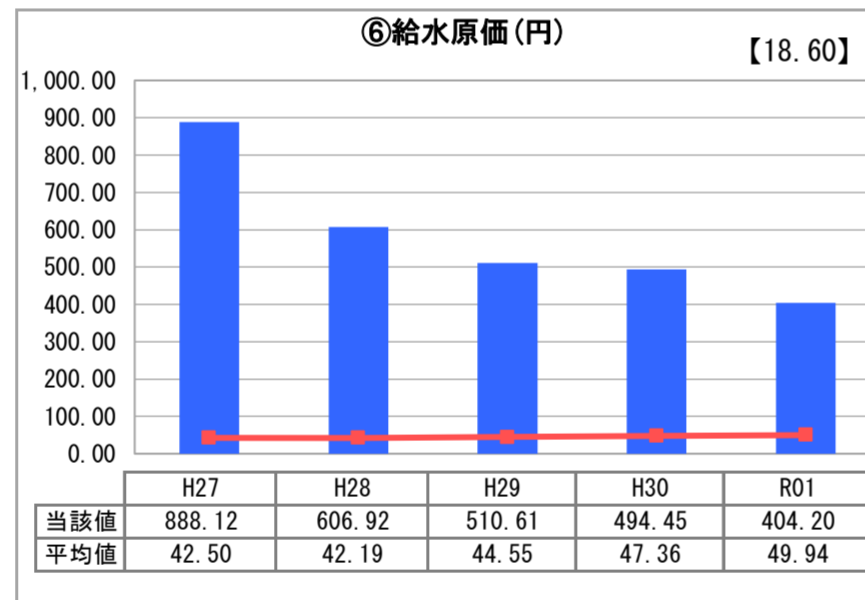
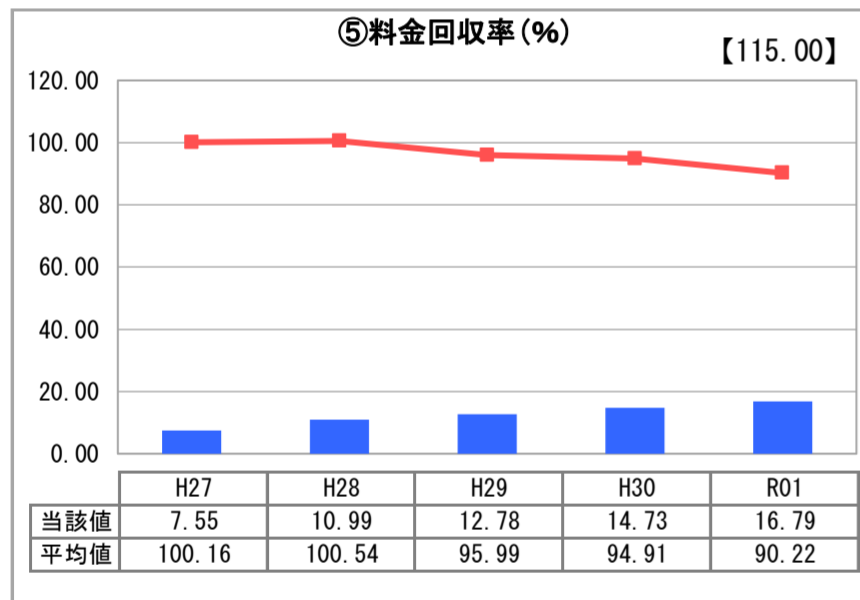
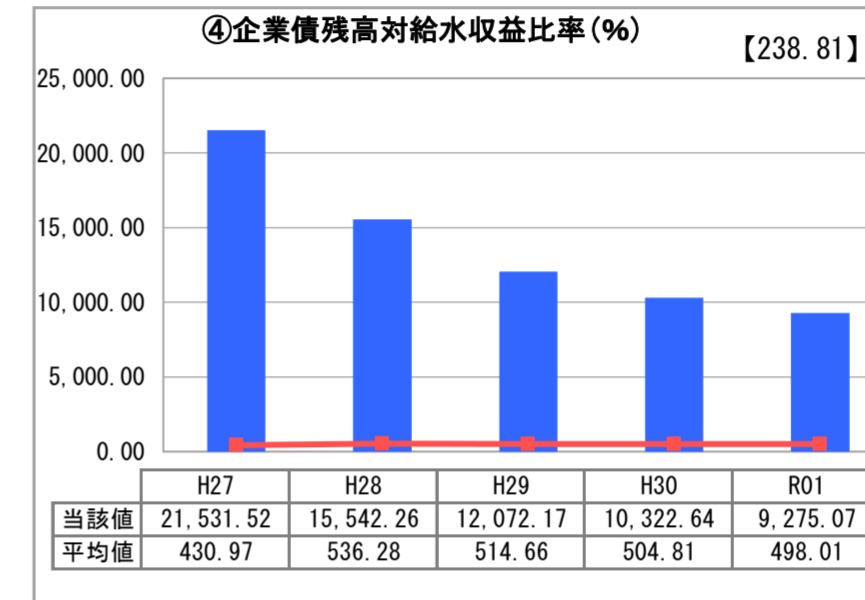
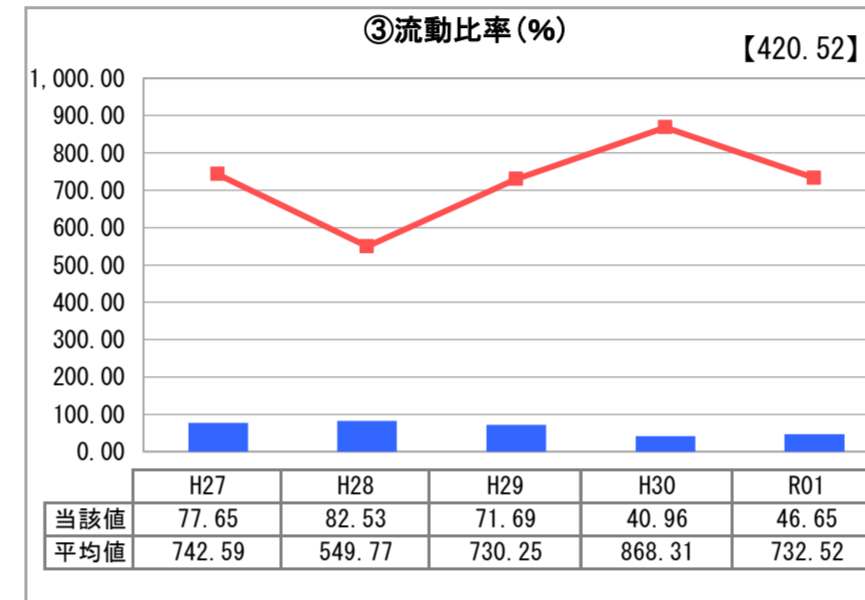
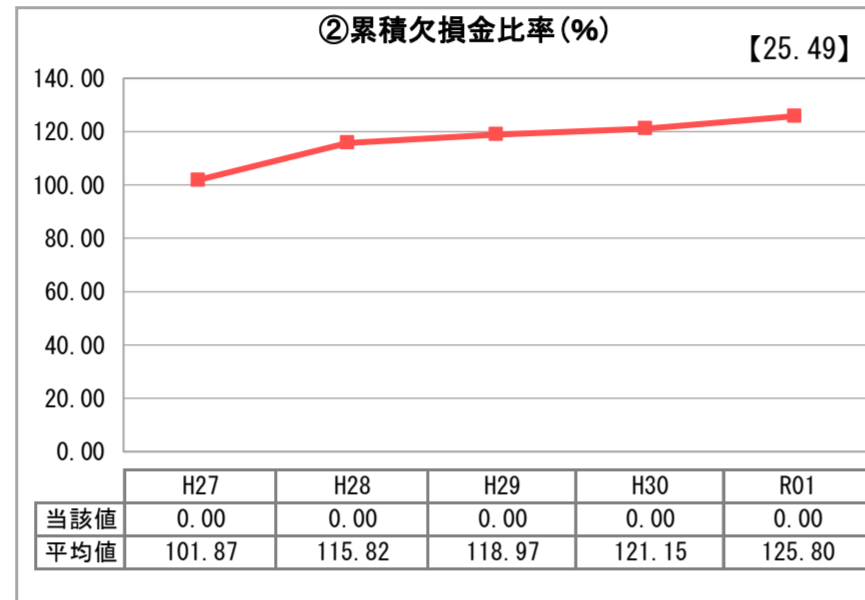
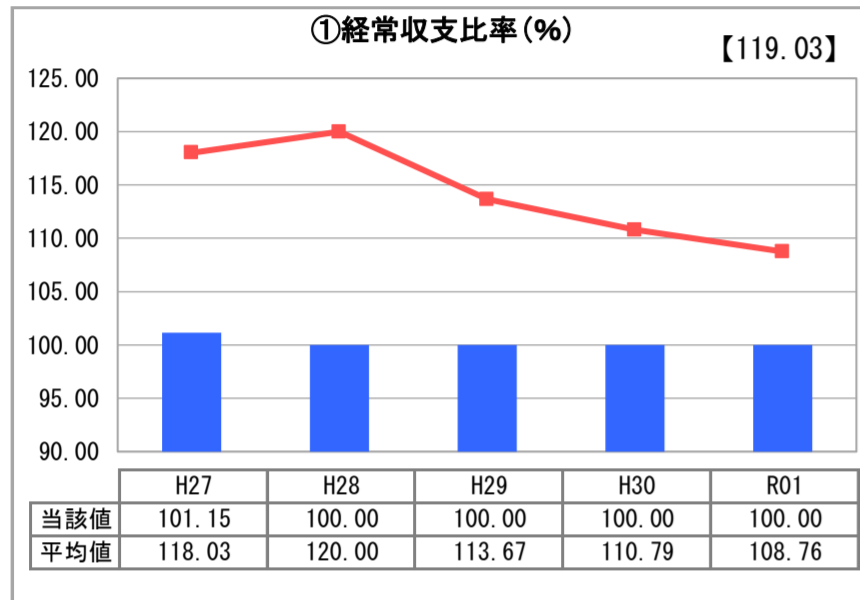
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	6,000	極小規模	1	400
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	18.2	3	340	非設置	

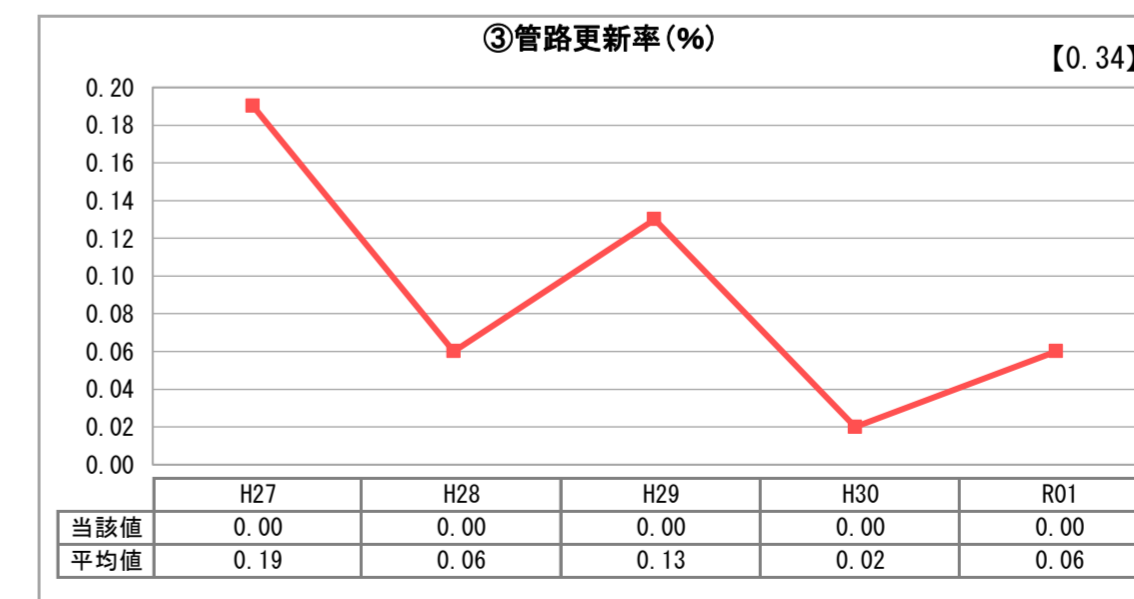
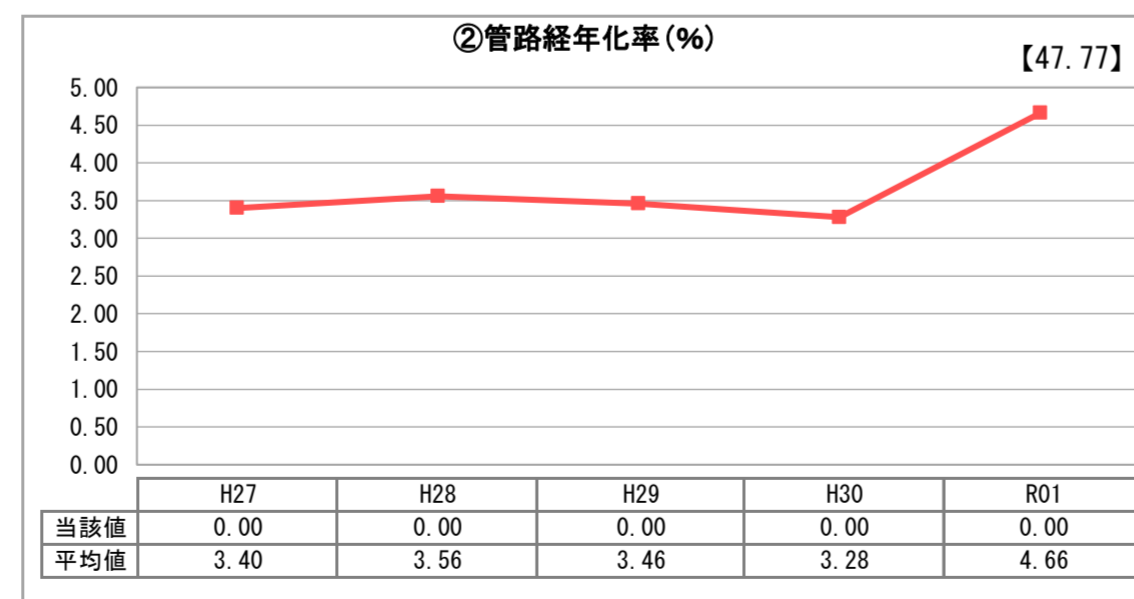
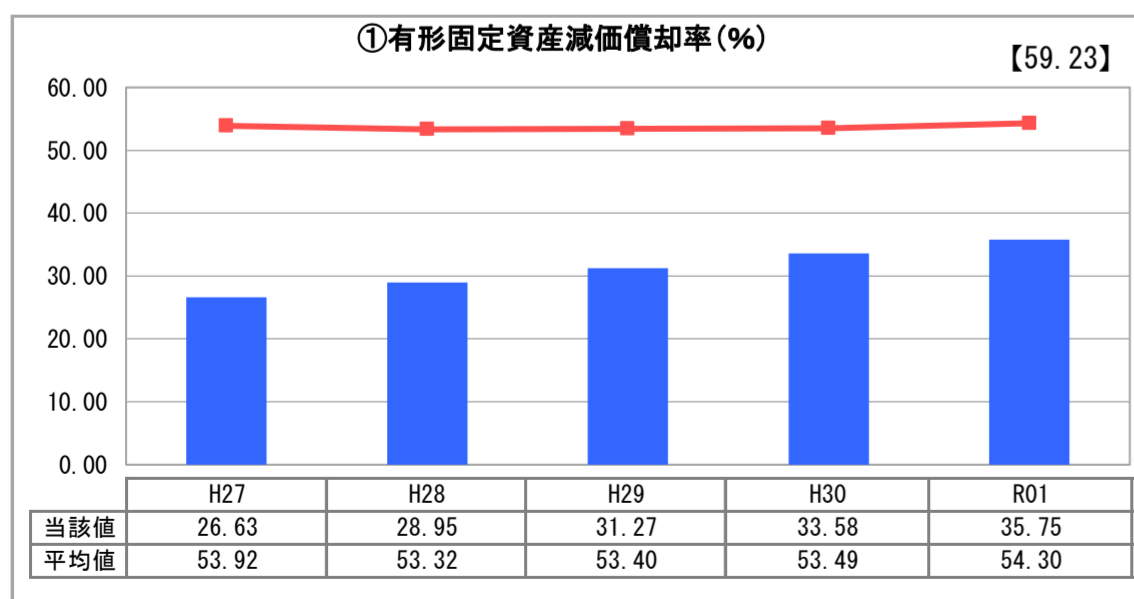
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の工業用水道事業の給水状況は、供給事業所が3社であり、契約水量も少ないため、収益の大部分を他会計からの財政支援によって賄われている。近年は、契約水量の増加により、⑤料金回収率、⑦施設利用率等が増加となっているが、今後も厳しい経営状況が予想される。

2. 老朽化の状況について

老朽化については、現在のところ償却年数を超える管路等がないため、管路更新の計画はないが、今後管路等の修繕・更新等を見据え、更なる経営の健全化に努める必要がある。

全体総括

経営状況としては厳しい状況にあり、営業収益の向上のためには、供給事業所の新規契約と既契約事業所での使用水量の増加が不可欠となっている。今後は、企業誘致担当部署との密な連携と、既契約事業所への使用水量の増加に向けた働きかけを行い、配水能力を効果的・効率的に発揮できる経営環境づくりに努め、経営の健全化を目指していきたい。